Ai愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館３Ｆ
ＴＥＬ 052－871－5433
ＦＡＸ 052－871－5618
ＵＲＬ http://www.airoren.gr.jp
発行人　吉良 多喜夫
第204号　2010年7月10日

あいち平和のための戦争展
とき　8月12日(木)～15日(日)
10:00～18:00
(15日は15:00終了)
ところ　名古屋市公会堂4Fホール
入場料　一般500円（小中高以下無料）

組織拡大で史上最高突破

愛知県医労連　11,000人めざしあと一歩

要求実現の確かな力は仲間を増やすこと

愛知県医労連（愛知県医療介護福祉労働組合連合会）が粘り強い組織拡大運動で、結成以来50年の歴史の中で最高の組合員数を達成しました。

医労連は1990年代後半から約10年にわたって1万500人を前後する停滞が続いてきました。しかし、組織の拡大こそ要求実現への近道」と組織拡大に奮起。毎年夏に開催する定期大会を節に、07年から前年を上回る増勢で大会を迎え、08年、09年は過去最高を更新してきました。今年も定期大会を前に、22単組が純増を実現し、全体で昨年を161人上回る1万0956人（7月9日現在）に到達。3年連続、過去最高の組合員数で大会を迎えようとしています。傘下の各組合では、すべての組合があと1人以上増やして8月の定期大会を1万1000人で迎えようと奮闘しています。

毎月2人の拡大目標を掲げてがんばる国共病組東海病院支部の仲間

医師・看護師増やせとナースウェーブ

すべてのたたかいと拡大を一体に

要求を実現する中で組合の役割実感

毎年1千人の仲間が去ってゆく

医療の現場は、常に人が足らない状況が続いており、厳しい労働条件の下で職場を去っていく人があとを絶ちません。愛知県医労連でも毎年約1000人が退職などの理由で組合を離れていきます。その数は組織人員の1割にもなり、組合員拡大を後回しにすれば直ちに組織は減少してしまいます。

こうした中で組織を大きくし、医療サービスの向上と労働条件の改善を図っていくには、要求実現のとりくみと組織拡大を一帯に進めていく必要があります。

腹を割った経験交流を年3回

愛知県医労連では、年間を通して組織拡大をとりくむため、組織拡大・共済推進会議を年3回（9月、2月、5月）開催。9月と5月の会議は1泊2日の合宿で開催し、参加した全組合からとりくみの具体的な計画や経験を出し合い交流。笑顔でうれしい報告もあれば、涙ながらの悔しい報告もありますが、すべての組合が組織拡大で前進できるように腹を割った討論をすすめています。

また、愛知県医労連は常時「組織拡大FAXニュース」を発行。執行委員会からの方針や行動の提起時だけでなく、傘下の組合で加入者が1人でもあれば必ず発行し、その経験を他の組合でもいかせるようにしています。春の新人を迎える時期には、毎日、発行されています。

医療研などは未組織職場を必ず誘って

魅力ある共済の拡大と合わせて

医労連共済を武器にしたよびかけも重視しています。民間の保険と比べて働くものの助け合いである共済は、基本共済と合わせて医療・火災・自動車などすべてのメニューが安い掛け金でお得。入院給付などを受けるための医療共済なら民間の半額程度の掛け金で同等以上の給付。誰が見ても医労連共済は魅力的です。共済に加入するには組合に加入することが必要ですから、共済を知らせることによって組合加入も広がっています。

各単組では、共済と各保険の掛け金と給付内容を比較したチラシを配り、説明会を実施。なごや福祉施設協会労組では、4月にパートを中心に6名が加入しました。そのうち4名は共済目的での組合加入となっています。

合宿で組織拡大・共済推進会議(09/9)

退職しても医労連の仲間

定年退職だけでなく、結婚や出産、他の医療施設への転職など理由は様々ですが、毎年1000人の仲間が退職していきます。

転職の人たちはもちろんのこと、結婚や出産、介護などの理由で退職する人たちの多くは、一段落すると復職してきます。医労連ではこうした人たちが引き続き医労連の仲間でいられるように格安の組合費を設定し、退職者継続加入をよびかけています。

こうした人たちの組合費は月々1000円で、その内800円を基本共済の掛け金にし、実質的な組合費は200円。収入のない時に安い掛け金で医療や自動車などの共済が利用でき好評です。

こうした仲間は200人を超えており、機関紙と一緒に署名を送れば多くの人が協力してくれるなど、立派な運動の担い手となっています。

こうむ

世は坂本龍馬ブーム。もちろん、あのイケメン俳優が主演の大河ドラマの影響もあるが、歴史上の人物で1番人気といえば、彼の名があがるだろう。そんな彼の魅力はどこにあるのか？脱藩浪士というどこの組織にも属さない身でありながら、明治維新に導いた「英雄」として、彼が語られることが多い。後の世の小説での脚色で、実際の人物とは違っているようだが、私が彼の魅力としてあげたいのは、「相手をうち負かすことをしない」という点である▼ドラマでも、幕末動乱期で血気に走る仲間を「憎み合っては、何ともならんぜよ」とたしなめる場面が多くある。例え相手が自分の「政敵」であっても、まず相手の話をよく聞き、真意をつかみ、自分の考えを押しつけるのではなく道理を持って理解を求め、時には「政敵」も仲間にしてしまう▼彼は、日本初の貿易会社、海援隊をつくり外国と対等な通商を成し遂げる。薩長同盟で敵対していた勢力の大同団結を成し遂げ、大政奉還という「無血革命」、明治維新へと歴史を大きく前進させた。しかし、志半ばで暗殺され、時代は戊申戦争へ進んでいく▼彼のやり方が労働組合運動での組織拡大にも通じるのではないかと考える。まず、現場の労働者との対話、そして共感と協同を何よりも大切にしたい。（田）